

2020年度 富士小校区防災訓練 報告書

訓練実施日:2020/11/8

富士が丘防災部会

無事カード掲出による安否確認集計

地区	総世帯数	空家等	集計対象 世帯数	無事カード 掲出世帯	未掲出 世帯	掲出率 (%)	備考
富士が丘1丁目	398	17	381	316	63	82.9%	
富士が丘2丁目	235	11	224	127	97	56.7%	
富士が丘3丁目	475	139	336	166	170	49.4%	
富士が丘4丁目	222	7	215	168	47	78.1%	
富士が丘5丁目	189	3	186	144	42	77.4%	
富士が丘6丁目	283	23	260	172	88	66.2%	
池尻区	53	2	51	14	37	27.5%	
上深田区							
合計	1855	202	1653	1107	544	67.0%	

活動内容・気づいた点・今後の課題(防災部会での意見より)

★活動内容等

- ・参加者:地域住民(世帯数:1653)、無事カード掲出確認の各地区役員(班長):約130人
- ・避難指示アナウンス(一部の地域のみ)
- ・無事カードの確認による安否確認(非掲出世帯には、インターフォンによる声掛けを実施)
- ・各地区の状況の報告(確認世帯数、無事カード掲出世帯数)
- ・4丁目では、避難行動要支援者の世帯に声掛けを行う試みを初めて実施

★気づいたこと

- ・全体の掲出率は、67%(昨年は53%)を超えて高かった。コロナ禍で在宅の世帯が多かった影響かも?
- ・1ヶ月前に訓練チラシを全戸配布し、1週間前に回覧で呼びかけたが、非掲出世帯のほとんどは「忘れていた」で周知徹底できていない(防災意識低い)
- ・クリーンディなどでの口頭コミュニケーション、ゴミステーションに防災訓練の告知、マンションで館内放送での当日配信などは、有効であることが確認できた
- ・1週間前からゴミステーションに訓練チラシを貼りだした地区では、掲出率が100%の班もあった
- ・各班長の防災意識によって掲示に差がでている
- ・門扉等の見易い場所ではなく、奥まった玄関のドア等に掲出しているケースがあり、確認に手間取った
- ・カード掲示だけでなく、集合住宅では、外から確認できるリボンなどをベランダに掲示するなどでも有効と考える

★今後の課題

- ・行政の協力も得て防災意識の向上と周知徹底も図るべき
- ・ゴミステーションにラミネート加工したチラシ掲示について、防災部会として検討する

以上